

「自分の好きなことを仕事にする」 SC相模原 宮城國彦先生

10月23日のアドバンスタイムでは、日本プロサッカーリーグ（Jリーグ）J3のSC相模原から宮城國彦先生をお招きして講演会を行っていただきました。当日、視聴覚室にはサッカー部員、ハンドボール部員ほか、サッカーに興味のある生徒を含め32人が集まりました。

「自分の好きなことは何でしょう。」「この質問が難しければ、別の視点から考えてみましょう。あなたの好きな教科は何ですか。」「では何でその教科が好きなのでしょうか。」「あなたの得意なことを考えてみてください。」先生から次々に質問されて、多くの生徒が頭を抱え込んでいます。実は、この質問に、本日のテーマである「自分の好きなことを仕事にする」のヒントが隠されていました。



誰でも子どものときには無邪気な夢を持っています。曰く、お姫様になりたい、ウルトラマンになりたい、ヒーローになりたい。強い人になりたい。それがいつしか、小中高と成長するにつれて、夢が進路という言葉に置き換わり、より現実的な選択を迫られます。なりたいものからなれるものへ。自分の興味に合わせて、可能な限り調べたうえで、これなら大丈夫と思えた道を信じて歩む。おそらく、これは多くの人々がたどる生き方であり、このこと自体を否定するわけにはいきません。

ところで、夢を見ることは、本当に非現実的なことでしょうか。自分の好きなことを仕事にできたらどんなに素敵なことかという発想は甘すぎるでしょうか。

例えば、プロのサッカー選手になるためには、確かに高いハードルが存在します。よく「頑張っていればいつか夢は叶う。」と言われますが、努力一つで誰もがプロの選手やオリンピック選手になれるほど、甘い世界ではないのも事実です。

しかし、宮城先生の話を知ると、道は一本ではなく、むしろ、発想を広げ、自分の好きなことを関連する仕事と結びつけて生きる方法が確かにあると感じました。もちろん、自分の強みをさらに伸ばし、誰にも負けない領域に達するための積み重ねは必要です。その上で、「プロのサッカー選手になる」という夢をいったん「」（かぎっこ）に入れて、自分がこの分野で関わることはないだろうか、自分の好きなことを仕事に結びつけられないだろうか、広い視野で考え抜くことが大事なのだと思います。

そして、自分の得意なこと、強みを生かし、自分の好きなことを仕事にできたら、どんなに素晴らしいことでしょうか。この講演会で勇気を頂くとともに、自分の可能性を広げ、得意なことをさらに伸ばしたいという意欲がわいてきました。宮城先生、本当にありがとうございました。